

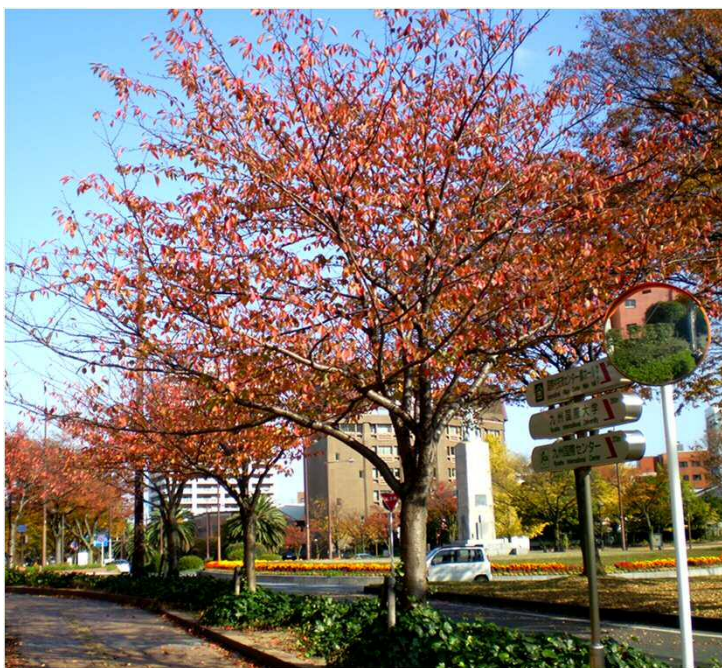
代表樹種 ソメイヨシノ



〔撮影場所;八幡東区高見「高見緑道」〕

バラ科 ソメイヨシノ（染井吉野）＜別名//ヨシノザクラ＞ 落葉広葉高木 樹高10m

江戸時代末期に作出された園芸品種。エドヒガンとオオシマザクラを掛け合わせたものとされている。ふつう接木によって増やされている（クローン）ため、開花時期が見事に揃う。しかも樹木全体が一時花だけになることから華やかさが抜きん出ており、日本中至る所桜並木、桜公園が存在する。ソメイヨシノは我国の代表的花木であるといえる。通常の樹形は樹齢が増すに従って高さよりも横に広がる性質がある。（上の写真のように）



桜の紅葉は赤、黄、紫、橙、茶など色とりどりで美しい。但し、虫害、風害に弱く見事な紅葉に毎年出会える



周りが他の樹木で囲まれていると上方にどんどん伸び、このような樹形にもなる。ヤマザクラは概してこのような樹形が観察される。ソメイヨシノも山間部の林道などに植えられ放置されているものはこのようになっている。

街路樹としての代表的路線

小倉北区 県道長行田町線
小倉南区 湯川77号線

八幡西区 金山川自転車道
八幡東区 高見緑道、前田花尾町1号線（さくら通り）、桃園尾倉1号線